

富士市環境マネジメントシステム 監査報告書

令和 6 年 1 月

一般社団法人 静岡県環境資源協会

目次

1. 目的.....	1
2. 実施内容.....	1
3. 実施対象.....	1
4. 日程等.....	2
5. 実施結果.....	3
(1)書類監査.....	3
(2)現地監査.....	3
① 警防課.....	4
② 交流観光課.....	5
③ 健康政策課.....	6
④ 中央病院(病院総務課).....	7
⑤ 森島保育園.....	9
⑥ 富士駅北まちづくりセンター.....	11
⑦ 田子浦中学校.....	13
⑧ 須津小学校.....	15
⑨ 吉永第一小学校.....	17
⑩ 環境総務課(富士市EMS事務局).....	19
(3)総合評価.....	21

1. 目的

本業務は、富士市環境マネジメントシステム（以下「EMS」という。）がマニュアルどおりに運用され、有効かつ妥当なものとなっているか確認することを目的として実施した。

2. 実施内容

書類監査:富士市地球温暖化対策実行計画（事務事業編第三期計画）対象所属の温室効果ガス排出量、エネルギー使用量、施設に適用される法令等について監査を行い、現地監査を実施する所属の選定を行った。

現地監査:EMSが適正に運用されていることを確認し、特に省エネルギー及び関係法令等について詳細に確認を行った。

3. 実施対象

書類確認対象:地球温暖化対策実行計画（事務事業編第三期計画）対象所属すべて

現地監査対象:9所属及び事務局

対象所属
警防課
交流観光課
健康政策課
中央病院（病院総務課）
森島保育園
富士駅北まちづくりセンター
田子浦中学校
須津小学校
吉永第一小学校
富士市EMS事務局

4. 日程等

書類監査:令和5年9月6日（水）～9月8日（金）

現地監査:令和5年11月1日（水）、11月2日（木）の2日間

監査人:坂東 誠 ・ 水口 渉

令和5年度富士市環境マネジメントシステム環境監査日程表

日時		監査対象所属
11月1日（水）	9:20～ 9:50	警防課
	10:00～10:30	交流観光課
	10:50～11:20	健康政策課
	13:00～14:40	中央病院（病院総務課）
	15:10～16:30	森島保育園
11月2日（木）	8:50～10:10	富士駅北まちづくりセンター
	10:40～12:00	田子浦中学校
	13:50～15:10	須津小学校
	15:30～16:50	吉永第一小学校
	17:20～18:00	富士市EMS事務局（環境総務課）

5. 実施結果

(1)書類監査

省エネ効果が見込まれる施設や、環境法令等の適用数が多い施設から、これまでの環境監査実績及び部門ごとの偏りを考慮しながら、現地監査所属を9所属選定した。なお、選定は、以下の参考書類に基づき、富士市地球温暖化対策実行計画（事務事業編第三期計画）の対象となる施設の温室効果ガス、エネルギー使用量及び環境法令等の適用状況を確認し実施した。

【参考書類】

富士市環境マネジメントシステムマニュアル【第3版】

令和4年度 目標一覧表

富士市地球温暖化対策実行計画（事務事業編第三期計画）

令和4年度 施設別温室効果ガス排出量一覧表

令和4年度 施設別エネルギー使用量一覧表

令和4年度 所属・施設別環境関連法令等遵守評価書

令和4年度 富士市地球温暖化対策実行計画（事務事業編第三期計画）実績報告

令和4年度 グリーン購入結果について

(2)現地監査

対象施設

警防課、交流観光課、健康政策課、中央病院、森島保育園、富士駅北まちづくりセンター、田子浦中学校、須津小学校、吉永第一小学校、富士市EMS事務局（環境総務課）

① 警防課	
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・職員8名、警防担当、救急管理室があります。 ・主な業務内容として、災害対応の統括、救急車含む車両の維持管理、消火栓及び防火水槽の維持管理、救急及び救助の所管となっています。 ・EMSは問題なく運用されていますが、対象職員への周知・教育といった部分において、やや弱い傾向にあります。効果的なフィードバックを図るためにも、研修時間の見直しを検討する必要があります。 ・紙使用量が増加しています。原因分析は行われていますので、今後はその対策を講じていく必要があります。
所見&提案	<ul style="list-style-type: none"> ・研修計画は年度初めに計画され、年3回対象者に実施されています。研修内容として、適用される環境法令の遵守、富士市EMSの周知及び運用実績の確認等を題材として行っており、計画内容は適切です。ただし、各研修時間が10分～15分と短く、実績等においては確認に留まっており、見直しを行う時間が取れていないのが現状です。より効果的なフィードバックを図るためにも、研修時間の見直しを検討する必要があります。 ・紙の使用量が前年比で大幅に増加していますが、その原因としては4年に1度開催の緊急消防援助隊全国合同訓練が静岡で行われた際、外部との事前打合わせ及び会議で資料配布を行ったことがその主な要因と考えられます。当該原因は外部に起因するものであり削減が難しいところではありますが、データベースでの資料配布を行うなど、可能な限り、当該外部起因に基づく紙使用量に対しても削減するための具体的見直しが必要と解されます。また、前回や次回の実施地域との引き継ぎや情報共有を行うと思いますので、その際に紙使用状況など環境負荷面についても含めるようにしてください。 一方課内においては、裏面再利用の徹底及び両面印刷の意識付けを職員に行っており、紙使用量削減に向けた取組が積極的に行われています。 ・職員エコチェック表では、各実施項目においてほぼ3点に近い点数評価となっています。職員のエコに関する意識が高い水準で保たれているのは、所属長やエコ指導員が日頃よく職員を観察している効果であると感じました。是非今後とも継続して取り組んでください。

② 交流観光課	
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・職員16名、観光担当、交流推進担当があります。 ・主な業務内容として、観光振興の施策の企画・立案、友好・姉妹都市交流、様々なイベントに対する事業推進等を担っています。令和4年に富士山・観光課とスポーツ振興課、文化振興課、国際交流室の一部が統合され、今の名称である交流観光課となりました。 ・EMSは問題なく運用されています。研修時間として30分～60分設けており、内容の濃い研修が図られています。ただし、研修実施日の欠席者へのアフターフォローがされていないため、当該欠席者への対応が必要です。 ・紙使用量が増加しています。原因分析は行われていますので、今後はその対策を講じていく必要があります。特に紙面の電子化は喫緊の課題と言えます。
所見&提案	<ul style="list-style-type: none"> ・研修計画は年度初めに計画され、年2回対象者に実施されています。研修内容として、今年度の取組とグリーン購入方針の確認、上半期の実績確認（紙使用量の確認周知等）を行っており、計画内容は適切です。また各研修時間も30分～60分設けており、内容の濃い研修が図られています。振り返りで職員からの意見も多いとのことですので、是非記録に残し、活動に役立ててください。 ただし、研修実施日の欠席者へのアフターフォローがされておりません。研修計画においては、全職員に対して行う必要があるため、欠席者向けに後日対応（教育・周知）を実施することが必要です。 ・紙の使用量が前年から大幅に増加しています。増加の主な要因としては、部署統合による業務の拡大が考えられるため、今回は経過観察とした上で、次年度の紙使用量の推移を改めて確認する必要があります。なお、この事例は単純な統合ですから、昨年度までの実績を合算して判断すべきです。（集計システムがデータを提供できるかどうかは別にしても、）実績を安易に無視するべきではありません。 また紙使用量削減に向けた取組として、裏面再利用の徹底及びコピー機周辺への削減スローガンの掲示等、削減に向けた活動が図られています。その一方で、資料等の電子化はあまり進んでおらず紙ベースでの配布等が行われているため、今後ペーパーレス化による紙使用量の削減を図っていく必要があるものと解されます。 ・職員エコチェック表では、各実施項目において平均点がやや低い点数評価となっています。特に「電子決裁等利用することにより印刷物を減らすように努める」といった項目については、1.8点とかなり低く、職員の中でも紙面の電子化が進んでいないことを認識している状況です。紙面の電子化を今後の貴課における喫緊の課題と捉え、課題解決に向けて取り組んでください。

③ 健康政策課	
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・職員27名、健康推進担当、健診担当があります。 ・主な業務内容として、市民の健康づくり、がん検診の実施、定期接種事業(コロナワクチン、予防ワクチン等)、自殺防止事業を担っています。 ・EMSは問題なく運用されています。また研修計画においても、各研修時間を20分程度設けており、欠席者へは後日改めて対応を図るなど適切に対応されており妥当です。 ・紙使用量が増加しています。原因分析は行われており、外部的要因については一時的な原因に帰するものであるため、今後の推移を見守る必要があります。課内においては裏面再利用や会議等資料のデータベース化などペーパーレス化を推進しており、紙使用量削減に向けた積極的な取組姿勢が見て取れます。
所見&提案	<ul style="list-style-type: none"> ・研修計画は年度初めに計画され、年2回対象者に実施されています。研修内容として、昨年度実績と今年度の取組の確認及び上半期実績と節電取組の周知等を題材としており、計画内容は適切です。また各研修時間は20分程度設けており、欠席者へは後日改めて対応を図るなど妥当です。 ・紙の使用量が前年比で大幅に増加していますが、その原因としてはコロナワクチンの接種事業における接種券等作成の受託先企業がその業務を受けられなくなり、急遽貴課により当該業務を行うこととなったことが、紙使用量増加の主な原因と捉えられます。当該原因は、一時的な外部的要因に帰するものであることから、特に当該原因に対しての是正対策等は不要と解されます。エコ指導員が「コロナが収束すれば元の枚数に戻るはず」と明言されましたが、近い将来に向けての目標の示し方、職員への意識づけとしての的確と考えます。良い着地がなされるよう努めてください。 <p>一方、課内においては裏面再利用や会議等資料のデータベース化などペーパーレス化を推進しており、紙使用量削減に向け積極的な取組姿勢が見て取れました。また課内から排出されるゴミについては、ごみカートごとに分別の掲示をするなど職員への周知を徹底しており、環境への意識付けが図られています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員エコチェック表では、各実施項目において、若干平均点が伸び悩んでいると認識されています。エコ指導員が職員への工夫した声掛けを行う等しており、特に若手職員に対して熱い気持ちを持って指導されています。今一度職員へ実施項目の周知等を行った上で、平均点向上に向け、日々取り組んでいくようお願いいたします。 ・職員同士の意見交換の場を設けることで、さらに職員の意識の向上が図られると考えます。実施に向けて検討してみてください。

④ 中央病院(病院総務課)	
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・病院総務課が院内の設備の運営及び廃棄物の管理を含め、病院の運営管理全般を担っています。 ・病院総務課は職員17名であり、人事担当、総務担当、施設物品担当があります。 ・EMSは問題なく運用されています。 ・都市ガス使用量等近年使用量が増加している項目については、原因分析の上、是正の必要性の有無を検討し、必要であれば当該対策を講じるなど、削減に向けた見直しを図ることがEMS運用上、必要です。 ・管理標準においては、管理項目から抜けている設備もなく適切に作成されており、また良く理解されています。 ・環境関連法令等遵守評価表の適用設備の見直しが必要です。
所見&提案	<ul style="list-style-type: none"> ・研修計画は年度初めに計画され、年3回対象者に実施されています。研修内容として、①昨年度実績と今年度の取組の確認・周知、②空調、電気の管理標準の手順書及び緊急事態への対応の周知、③上半期実績と下半期取組の確認を題材として行っており、計画内容は適切です。ただし、各研修時間が15分と短く、実績等においては確認に留まっており、見直しを行う時間が取れていないのが現状です。より効果的なフィードバックを図るためにも、研修時間の見直しを検討する必要があります。 ・エネルギー使用量として、主に電気及びガスを使用しています。電気使用量については、節電を意識して取り組まれていることもあり、近年600万kWh程度で使用量が推移しています。病院という特殊な現場のため、節電においては、出来るものと出来ないものを峻別した上で、今後も省エネに向けた取組を進めてください。一方、都市ガス使用量においては、近年増加傾向にあります。その原因についての確認・評価がなされていません。原因分析の上、是正の必要性の有無を検討し、必要であれば当該対策を講じるなど、削減に向けた見直しを図ることがEMS運用上、必要です。 ・管理標準においては、管理項目から抜けている設備もなく適切に作成されており、また良く理解されています。 ・環境関連法令については、環境関連法令等遵守評価表を作成の上、取りまとめています。該当法令に関しては、遵守されていることを確認出来ましたが、放射線管理の項目が抜けていることが判明しました。今一度適用設備を見直ししてください。 <p>また、遵守確認の押印が、実際の実施月と異なる月に押されています。記憶に頼らず、実施書類を確認して行うようにしてください。年度初めに評価表に予定を書き込んでおくことも有効です。押印だけでなく評価日を記入するとさらによいです。</p> <p>一方、エアコン室外機裏に雑草が見られました。法令上不要ですが、日常管理面</p>

も強化すると良いです。

- ・現場で保管されている廃蛍光灯においては、廃棄物処理法における廃棄物保管場所への掲示板の設置義務がありますがその確認が取れませんでした。掲示板を設置するよう対応してください。
- ・緊急事態として、大規模地震及び蒸気ボイラー装置の緊急停止を想定した緊急事態訓練の対策が講じられています。また当該緊急事態を想定した訓練をR5年6月7日に実施しており、訓練結果は問題なしとして、その有効性を評価しています。
- ・自家用電気工作物点検で絶縁不良個所がありましたが、早急に調査対応を図っており、問題ありません。

⑤ 森島保育園	
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・職員23名、園児は58名です。1978年に開園し、周辺地域の保育園として長年活動してきました。老朽化のため再来年閉園予定となっています。 ・EMSは効果的に運用されています。研修計画も充実した内容となっています。 ・電気、水、LPG使用量が増加傾向にありますが、日々フィードバックを行っており、原因分析及び是正処置等が来ています。 ・環境関連法令については、一部追加にて対応を行う必要がある事項もありましたので対応が必要です。 ・管理標準においては、管理項目から抜けている設備もなく適切に作成されており、また良く理解されています。
所見&提案	<ul style="list-style-type: none"> ・研修計画は年度初めに計画され、年6回対象者に実施されています。研修内容として、昨年度実績と今年度の取組の確認、富士市EMSの周知及び運用実績の確認、管理標準の把握、水使用量、SDGs、廃材活用について等、様々なテーマにて研修計画を策定の上、実施しています。また各研修時間も20分～30分設けており、充実した研修が行われています。 なお、勤務時間等の影響で、毎回欠席・フォローとして扱われている職員の記載がありますが、別枠で研修が実施されている場合は、きちんと記録を残すようにしてください。話し合いの内容等の記録が残らず、もったいないです。むしろ、別の視点の意見があるかもしれない、異なるカリキュラムが適しているかもしれない等、前向きにとらえてください。 ・電気、水、LPG使用量が近年増加傾向にありますが、充実した日々の研修計画の中でフィードバックを行っており、原因分析及び是正処置等が来ています。中でも節水に向けた取組においては、研修の中で、「園児たちに水の大切さを伝えていくためにどうしたらよいか」等を職員間で意見交換するなど、充実したフィードバックが見て取れました。EMSにおけるPDCAサイクルが、非常に上手く回っています。今後も継続的改善に努めてください。 ・管理標準においては、食器消毒保管庫、OA機器、業務用機器、空調、照明設備等の設備において定めています。また管理項目から抜けている設備もなく適切に作成されており、書き込みやマーカーもあり良く理解されています。 ・グリーン購入として、画用紙、折り紙等の教材購入の際に対象製品を購入するよう意識しています。また担当者が明確に定められており、職員への周知も徹底されています。 ・環境関連法令については、環境関連法令等遵守評価表を作成の上、取りまとめています。該当法令に関しては、遵守されていることを確認出来ました。 ・フロン排出抑制法の業務用エアコンの簡易点検は行われていますが、全ての設備を一括しての点検結果となっています。点検表は機器ごとに作成してください。 ・現場で保管されている廃蛍光灯においては、廃棄物処理法における廃棄物保管場

	<p>所への掲示板の設置の義務がありますがその確認が取れませんでした。掲示板を設置するよう対応してください。また廃プラスチック保管場所においては、掲示板の設置はされていましたが、サイズが法律に則ったサイズより小さいものでした。設置する掲示板においては、60cm×60cm以上の大きさがが必要です。</p>
--	--

⑥ 富士駅北まちづくりセンター	
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・職員3名で運営されています。 ・平成27年に完成後、市民向けに団体室、研修室、調理実習室及び多目的室等の貸館を提供しています。年間利用者数は26,240名にのぼります。 ・EMSは問題なく運用されています。 ・エネルギー使用量として、主に電気を使用しており、近年増加傾向にあります。その原因分析については適切に行われています。削減に向けた対応策を講じていますが、やや弱い追加にて節電等の取組を行うと更なる省エネへの期待がもてます。 ・管理標準においては、管理項目から抜けている設備もなく適切に作成されており、また良く理解されています。
所見&提案	<ul style="list-style-type: none"> ・研修計画は年度初めに計画され、年2回対象者に実施されています。研修内容として、①グリーン購入方針及び今年度取組の確認・周知、②上半期実績と下半期取組の確認を題材として行っており、計画内容は適切です。研修時間も25分設けており、充実した研修が行われています。 ・エネルギー使用量として、主に電気を使用しています。電気使用量については、近年増加傾向にあり、その原因としては、貸館利用の増加(利用団体数：令和3年実績1,204件から令和4年実績1,610件と1.3倍増)がその主な要因として挙げられました。対策として、空調の温度調整等の呼びかけ及び掲示を行っているとのことですが、今後は利用者に節電等の呼びかけ及び掲示(こまめな照明のON/OFF等)を行うと更なる省エネへの期待がもてるものと思われます。また、市民と職員の電気の使用を分けて分析～対策検討をされていたのは良い事例です。 なお、当センターは冬場の電気使用量が多い特徴があります。暖房の電気使用量と解されますが、新しい建物にしては異例です。監査時には原因不明でしたが、注視されると良いです。 ・紙使用量については、裏面再利用、SNS媒体使用(LINEを利用)の推進に精力的に取り組まれていることもあり、近年当該使用量については、減少傾向にあります。是非次年度も減少に向け継続的に取り組んでください。 ・排出されるゴミについては、5種類の分別を職員に周知徹底しており、環境への意識付けが図られています。 ・管理標準においては、管理項目から抜けている設備もなく適切に作成されており、また良く理解されています。 ・環境関連法令については、環境関連法令等遵守評価表を作成の上、取りまとめています。該当法令に関しては、遵守されていることを確認出来ました。ただし一部フロン排出抑制法における簡易点検記録表等が監査時に確認することが出来なかったため(後日、記録表確認済み)、法令遵守において保管が必要となる資料につきましては、保管場所及び責任者等を明確にしておいてください。 ・廃棄物処理法における廃棄物保管場所への掲示板の設置の義務がありますがその

	<p>確認が取れませんでした。掲示板を設置するよう対応してください。</p> <p>また、廃蛍光灯が箒等と一緒に保管されていました。蛍光灯の破損により水銀が飛散する恐れがありますので、保管方法を見直してください。</p>
--	--

⑦ 田子浦中学校	
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・田子浦地区において昭和22年に創立した中学校です。生徒数366名、職員等41名、1学年4クラスで構成されています。 ・EMSは運用されていますが、PDCAサイクルの「C」「A」がやや不十分であると解されます。内容のある実績の確認・評価及び見直しを図るためにも、研修時間の見直しを検討する必要があります。 ・エネルギー使用量として、主に電気、LPGを使用しています。電気使用量については近年増加していますが、適切な原因分析及び対策がされています。水使用量については、昨年度の使用量から削減が図られています。 ・管理標準においては、管理項目から抜けている設備もなく適切に作成されていますが、校内の実際の設備や運用に則して基準を決めてください。
所見&提案	<ul style="list-style-type: none"> ・研修計画は年度初めに計画され、年4回対象者に実施されています。研修内容として、①環境関連法令の研修②管理標準の研修③昨年度実績と今年度の取組の確認④上半期実績の確認を題材として行っており、計画内容は適切です。ただし、各研修時間が5分と短く、PDCAサイクルの「C」「A」を行うには不十分であると解されます。内容のある実績の確認・評価及び見直しを図るためにも、研修時間の見直しを検討する必要があります。 なお、期首の研修以外にも職員会議で継続的に取り上げている、との意見もありました。このこと自体は良いことですが、その内容（伝達事項、意見、活動への反映等）を記録に残すようにして、実績の確認・評価及び見直しにつながるようにしてください。今一度研修のありかたを考えることをお勧めします。 ・エネルギー使用量として、主に電気、LPGを使用しています。電気使用量については、近年増加傾向にあり、その原因としては、教室内への空調設備の新規設置がその主な要因として挙げられました。増加原因としては、やむを得ない事由ではありますが、使用量削減に向けた取組を積極的に行っていくことで現状の使用量を削減できるよう、省エネ改善を図ってください。LPG使用量は昨年からはほぼ横ばいで推移しています。水使用量については、昨年から減少しました。昨年、増加原因を分析の上、すぐに是正処置を行った結果、今年の水使用量削減という結果に繋がっていることから、冒頭でお伝えした確認・評価及び見直しの時間を設け、効果的なフィードバックを図っていただきます。 ・紙の使用量が前年比で増加しています。原因として、コロナウイルスが収まるにつれ、オンライン授業から通常形態での授業に戻ったことが、その要因として挙げられました。削減に向けた対策としては、職場内での会議等をデータベースの資料で行うよう徹底しており、また裏面再利用及びミスプリント削減への意識付けを行っており、紙使用量削減に向けた取組を積極的に行っているものと評価できます。 ・管理標準においては、管理項目から抜けている設備もなく適切に作成されていま

すが、学校の運用に則した基準を決め書き込んでください。また、対象機器を実際に使用する人へ伝わっていないようです。実際に使用する人が内容を理解して基準を決めていくことが必要です。

- ・環境関連法令については、環境関連法令等遵守評価表を作成の上、取りまとめています。該当法令に関しては、一部を除き遵守されていることを確認出来ました。
- ・廃棄物処理法における廃棄物保管場所への掲示板の設置の義務がありますがその確認が取れませんでした。掲示板を設置するよう対応してください。
- ・理科室で保管している薬品類につき、使用量等記載の管理簿の確認がとれませんでした。当該管理簿を作成及び保管し、使用しない薬品があるようであれば、廃棄する等の対応してください。また、義務ではありませんが、製品安全データシート（SDS）を備え付けることをお勧めします。

⑧ 須津小学校	
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・創立150周年を迎える地域に根付く小学校です。生徒数544名、職員等52名、1学年3クラス＋支援学級3クラスで構成されています。 ・EMSは問題なく運用されています。 ・エネルギー使用量として、主に電気を使用しており、昨年から大幅に増加傾向にあります。その原因分析について適切に行われています。 ・紙の使用量削減に向けた取組として実施している裏面再利用については、紙の端材まで再利用を心掛けており、また用紙サイズごとに分別するなど徹底されています。紙使用量削減及びごみ排出量削減の両輪の観点から好事例として大変評価できます。 ・管理標準においては、管理項目から抜けている設備もなく適切に作成されており、また良く理解されています。
所見&提案	<ul style="list-style-type: none"> ・研修計画は年度初めに計画され、年2回対象者に実施されています。研修内容として、①印刷物の削減、節電、エアコン利用の確認、②環境研修を題材として研修計画を実施しています。ただし、各研修時間が15分と短く、実績等においては確認に留まっており、見直しを行う時間が取れていないのが現状です。より効果的なフィードバックを図るためにも、研修時間の見直しを検討する必要があります。また、欠席者への対応方法についても報告書に記録すると良いです。 ・エネルギー使用量として、主に電気、LPGを使用しています。電気使用量については、昨年から大幅に増加しています。その原因としては、夏季平均気温が非常に高く、生徒のクールダウン及び熱中症対策として冷房の稼働が上がったことがその主な要因として挙げられました。増加原因としては、やむを得ない事由ではありますが、今後も夏季における気温は平均して高いことが予想されるため、効率的な冷房の使用等、使用量削減に向けた取組を積極的に行っていくことで現状の使用量を削減できるよう、省エネ改善を図っていただきます。水使用量についても、昨年から増加傾向にあります。原因分析は出来ているため、再発防止に向けた取組を行っていくよう、日々の節水等の取組を継続してください。 ・紙の使用量は、ほぼ横ばいで推移しています。削減に向けた取組として、裏面再利用、封筒等の再利用、共有フォルダによる会議等のペーパーレス化を推進しており、その活動実績が今日の結果に繋がっているものと評価できます。特に裏面再利用については、紙の端材まで再利用を心掛けており、また用紙サイズごとに分別するなど徹底されています。紙使用量削減及びごみ排出量削減の両輪の観点から好事例として大変評価できます。 ・ごみ排出量削減に向けた取組として、SSS（スクールサポートスタッフ）や栄養教諭等の協力のもと、種類分別、再資源化の徹底、ファイルの再利用、食育の強化による食品ロスの削減等を行っており、また職員・生徒への周知も徹底されており、高い水準での当該排出量削減に向けた取組が行われています。 ・管理標準においては、管理項目から抜けている設備もなく適切に作成されており、

また良く理解されています。

- ・環境関連法令については、環境関連法令等遵守評価表を作成の上、取りまとめています。該当法令に関しては、一部を除き遵守されていることを確認出来ました。
- ・フロン排出抑制法における簡易点検記録表の対象設備に一部漏れがありました。点検表は機器ごとに作成する必要がありますので、追記するよう対応をしてください。
- ・廃棄物処理法における廃棄物保管場所への掲示板の設置の義務がありますがその確認が取れませんでした。掲示板を設置するよう対応してください。
- ・理科室で保管している薬品類については、非常によく管理が徹底されています。薬品使用における管理簿やSDSもあり適切です。

⑨ 吉永第一小学校	
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒数343名、職員等35名、1学年2クラス(5年生のみ3クラス)+支援学級3クラスで構成されています。 ・EMSは運用されていますが、実績等の確認及び見直しを行う時間が取れていないのが現状です。より効果的なフィードバックを図るためにも、研修時間の見直しを検討する必要があります。 ・エネルギー使用量として、電気、LPGを使用しています。特に電気使用量については近年増加していますが、適切な原因分析及び対策がされています。 ・管理標準においては、管理項目から抜けている設備もなく適切に作成されています。
所見&提案	<ul style="list-style-type: none"> ・研修計画は年度初めに計画され、年2回対象者に実施されています。研修内容として、①印刷物の削減、節電、エアコン利用の確認、管理標準の確認②上半期実績と下半期取組の確認を題材として研修計画を実施しています。ただし、各研修時間が15分と短く、実績等においては確認に留まっており、見直しを行う時間が取れていないのが現状です。また実績確認において、職員間で実績値等の数値把握(共有)がなされているかが不明確でした。より効果的なフィードバックを図るためにも、研修時間の見直しを検討する必要があります。 ・エネルギー使用量として、主に電気、LPGを使用しています。電気使用量については、近年増加傾向にあります。その原因としては、エアコン稼働日数が増えたことをその要因として挙げられました。削減に向けた対策として、換気の仕方の工夫、生徒のドア及び窓の開けっ放しに対しての注意喚起や先生によるドア及び窓の確認等を行っており、効果的な取組が行われているものと評価できます。水使用量については、近年増減を繰り返しており、主だった増加原因が掴みにくい状況にある中、現状配管の修理を進めています。 ・紙使用量については、裏面再利用、職員会議の資料のデータベース化、兄弟姉妹がいる生徒世帯に配布する資料を1つにするなど、使用量削減に向け精力的に取り組まれていることもあり、近年当該紙使用量については、減少傾向にあります。是非次年度も減少に向け継続的取組を続けてください。 ・管理標準においては、管理項目から抜けている設備もなく適切に作成されており、また良く理解されています。 ・環境関連法令については、環境関連法令等遵守評価表を作成の上、取りまとめています。該当法令に関しては、一部を除き遵守されていることを確認出来ました。 ・フロン排出抑制法において簡易点検記録表はあるものの、全体を一括しての評価記録しかありませんでした。当該法令に基づく簡易点検記録は、対象設備ごとに記録表を作成する必要があります。対象設備ごとの簡易点検記録表を保管するよう対応してください。 ・廃棄物処理法における廃棄物保管場所への掲示板の設置の義務がありますがその確認が取れませんでした。掲示板を設置するよう対応してください。

また、廃蛍光灯が多数保管されていました。あまりためずに処理したほうがよいです。

- ・ 理科室で保管している薬品類については、管理状況及び薬品使用管理簿の保管状況いずれも適切です。なお、義務ではありませんが、製品安全データシート（SDS）を備え付けることをお勧めします。

⑩ 環境総務課(富士市EMS事務局)

<p>概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各課及び各施設における環境研修計画の作成が形骸化しているように思われます。EMSとして効果的な継続的改善を図っていくためにも、内容のある環境研修が行われるための仕組みが求められます。 そのうち、エネルギー使用量実績値を確認し、削減に取り組むという活動事例は少なく、事務局での工夫が必要です。 ・管理標準は、研修の効果もあり、各職場にて保有し適切に管理されています。しかし、今後は次のステップとして、管理標準の習熟度向上に努めてはどうかと思います。その上で、各施設独自の管理標準へと改善されていけばより効果的な管理が行えるものと思われれます。 ・環境関連法令については、環境関連法令等遵守評価表を作成の上、よく取りまとめができています。ただし、廃棄物処理法における廃棄物保管場所への掲示板の設置については、確認が取れないケースが多々見受けられたため対応が必要です。 ・ごみ減量に関する取組が現地では確認できなかったため、事務局から確認してください。 ・グリーン購入はルール運用を再確認、徹底してください。 ・事務局作成の実績報告は、活動全体のPDCAをつかさどる重要なものですので、チェックを働かせるという観点から、現状把握とギャップを明確にするよう心掛けてください。
<p>所見&提案</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各課及び各施設における環境研修計画の作成が形骸化している印象です。今回の外部監査の対象となった各課及び各施設において、環境研修計画の内容を確認したところ、研修実施の報告書は上がってくるものの、実際に内容のある研修が行われたか若干疑問に思う節が多々ありました。研修時間を長く設けている施設もあったが、大半が10分～多くて20分となっています。短いケースだと5分という場合もありました。当該時間内においてテーマとなっている内容を確認・評価し、必要に応じて見直しを行えるか、職場職員の行動目標設定や気づきにつなげているかと問われれば、甚だ疑問です。一方で、期首の研修より、継続的に職員会議で取り上げることが効果的との意見も聞かれました。 EMSとして効果的な継続的改善を図っていくためにも、研修の目的、ありかた（取り上げたい内容、ほしいアウトプットおよび職員への効果等）を、今後各職場と検討していく必要があるものと思われれます。 そのうち、エネルギー使用量実績値を確認し、削減に取り組むという活動事例は少なく、事務局での工夫が必要です。また、太陽光発電保有施設で、使用量が不明確になっている点は計測方法の改善を要します。 ・管理標準については、研修の効果と思われるが、対象となった施設いずれにおいても、作成の上、適切に管理されていました。ただし、当該管理基準の周知及び職員の把握が徹底されているかと言えば、各職場で決めるべき点の書き込みなどはまだ少なく、弱いように思われれます。一方で内容を理解しようと苦労している様子も見てとれました。今後は次のステップとして、管理標準の習熟度向上に努

めてはどうでしょうか。その上で、施設独自の管理標準へと改善されていけばより効果的な管理が行えるものと思われます。是非次のステップに向けた投げかけを事務局へは期待します。

- ・環境関連法令については、環境関連法令等遵守評価表を作成の上、よく取りまとめができています。特にフロン排出抑制法における簡易点検記録については、記録方法に若干の不備等はあったものの、いずれの対象施設においても良く行われていました。日頃の事務局による周知活動等の賜物と思われる。一方、廃棄物処理法においては、廃棄物保管場所への掲示板の設置確認が取れないケースが多々見受けられました。この点については、他施設に関しても同様となっていると推察されるため、水平展開をお願いします。
- ・市有施設から出る廃棄物は一義的には産業廃棄物であるが、事業系一般廃棄物（家庭ごみ同等のもの）は減量すべく取り組まれており（富士市地球温暖化対策実行計画実績報告2. 富士市環境マネジメントシステム目標に対する取り組み状況（6）ごみ排出量の（本庁舎・消防防災庁舎のみ））、市内事業所へも求めている（事業所ごみの減量ガイドライン）ところです。しかし、各現場で相応の管理及び減量の取組は確認できず、前項のように廃棄物保管場所の管理も万全といたがたいので、事務局として今一度あり方を検討してください。
- ・グリーン購入は価格を優先したり、制度を熟知しない職員からの要望が通ってしまっている事例が見られるので、ルール運用を再確認、徹底してください。
- ・事務局作成の実績報告は、活動全体のPDCAをつかさどるもので、チェックを働かせるという重要な役割があるはずで、富士市地球温暖化対策実行計画 令和4年度実績報告のうち、温室効果ガス排出量について、R4迄の実績が排出量実績値のみ記載され、H25～R12の間の年として計画・実績のギャップがどうなのか把握できませんし、数字だけ見ると楽観的にすら見て取れるものとなっています。R4年までの実績をチェックするという観点から、計画と実績の乖離（数字、施策）はあるのか、R5年度以降の施策の見通しはどうか、ギャップがあれば何が必要なのかの提言をあげるないし促すといったことを強化する必要があります。

(3)総合評価

総括

1. 優良事例について

- ・森島保育園においては、電気、水、LPG 使用量が近年増加傾向にありますが、充実した日々の研修計画の中でフィードバックを行っており、原因分析及び是正処置等が来ています。中でも節水に向けた取組においては、研修の中で、「園児たちに水の大切さを伝えていくためにどうしたらよいか」等を職員間で意見交換するなど、充実したフィードバックが見て取れました。EMSにおけるPDCA サイクルが、非常に上手く回っています。
- ・須津小学校においては、紙の使用量削減に向けた取組として実施している裏面再利用について、紙の端材まで再利用を心掛けており、また用紙サイズごとに分別するなど徹底されています。紙使用量削減及びごみ排出量削減の両輪の観点から好事例として大変評価できます。

2. 環境研修計画について

- ・各課及び各施設における環境研修計画の作成が形骸化しているように感じられます。今回の外部監査の対象となった各課及び各施設において、環境研修計画の内容を確認したところ、研修実施の報告書は上がってくるものの、実際に内容のある研修が行われたか若干疑問に思う節が多々ありました。研修時間としても長く設けている施設もありましたが、大半が10分～多くて20分となっています。短いケースだと5分という場合もありました。当該時間内においてテーマとなっている内容を確認・評価し、必要に応じて見直しを行えるかと問われれば、甚だ疑問です。EMSとして効果的な継続的改善を図っていくためにも、この点を今後検討していく必要があるものと思われる。EMS事務局からの仕掛けが必要と思われる。(10.EMS事務局 参照)

3. 管理標準について

- ・対象となった施設いずれにおいても、作成の上、適切に管理がなされていました。ただし、当該管理基準の周知及び職員の把握が徹底されているかと言えば、弱いように思われます。今後は次のステップとして、管理標準の習熟度向上に努めて頂いてはどうでしょうか。その上で、施設独自の管理標準へと改善されていけばより効果的な管理が行えるものと思われる。EMS事務局からの働きかけと支援が必要と思われる。(10.EMS事務局 参照)

4. 環境関連法令について

- ・対象となった施設いずれにおいても、環境関連法令等遵守評価表を作成の上、よく取りまとめができています。ただし、廃棄物処理法においては、廃棄物保管場所への掲示板の設置確認が取れないケースが多々見受けられました。この点については、他施設に関しても同様となっていると推察されるため、施設所管課からの指導をお願いします。
- ・蛍光灯が水銀含有物として規制が強化(H29)されていますが、このことを認識している職場が少なく、したがって蛍光灯が割れる懸念の残る保管場所も見受けられます。事例の水平展開とともに、法規制の変更に伴う展開のありかたを検討してください。

5. グリーン購入について

- ・グリーン購入では価格を優先したり、制度を熟知しない職員からの要望が通ってしまったりしている事例が見られるので、ルール運用を再確認、徹底してください。